



## ～笑顔いっぱい、平和だから～ 国際平和ミュージアム見学

7月28日 住之江地域活動委員会(大阪市) 参加53名(うち子ども17名)

「ムッチャんの平和像」の話を真剣に聞いていました



夏休みということもあり、親子で学習することで平和について語って考える場にしてもらい、今後、地域で広めていきたいとの思いで、京都市にある立命館大学国際平和ミュージアムに行きました。館内は戦争当時の品物や写真が展示されており、ガイドボランティアさんによる説明を受けながら、ゆっくり学習できました。子どもたち(主に小学生)は、大人と同じ話では難しいので、グループを別にして解りやすくガイドしていただきました。

はいけないものだ。平和が一番だと思っただけ。他にも、「授業では習わなかったところまで詳しく説明していただいて、とても勉強になりました。なにより、戦争での悲惨さをふたたび感じる事ができました」ガイドさんの話を聞いて、様々な背景や理由が戦争の裏にはあったんだとわかり、とても勉強になりました。大人も子どもも、戦争を知ること、平和の大切さを考えさせられた貴重な機会となりました。

### ムッチャんの平和像

横浜で両親と弟を戦災で亡くし、大分のおばさんを慕って疎開していたムッチャん。その後、結核のために防空壕に一人隔離されたまま、戦争が終わったことも知らずに飢えて死んでいったという…。



## 夏休み！親子でクッキング

8月21日 中宮・中宮北パル委員会(枚方市) 参加18名(うち子ども9名)

毎年夏休みに親子一緒に体験できるイベントを計画している委員会。今年はクッキングに。時間のある夏休みに、ゆっくり親子で料理を楽しみ、食べられること、ありがたさを感じることができました。

この日のメニューは、手作りギョウザ・おにぎり、米粉を使った団子のフルーツポンチ。小学校高学年のお姉ちゃんチームはテキパキとギョウザを作り上げていきます。3歳から5歳の子もたちもお母さんや、おばあちゃんほどの委員さんに手伝ってもらいながら「COOPとり釜めしの素」を混ぜ込みました。

「普段のとりにくみではこんなに子どもが集まる事がないから、にぎやかでいいねえ。自分の孫は成人してるし、小さい子どもと一緒にいるのは楽しいね」。子どもたちからは「楽しかったー」「家でもお手伝いはしているけれどギョウザを作ったのは初めて。今度はオムライスとか作りたいな♡」と次回の期待の声もありました。



いろいろな形のギョウザ



ギョウザ丸めったん焼けた～!

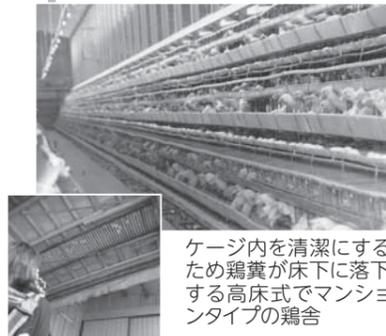
みんなで作ると楽しい♪

ボクたちも上手にできる

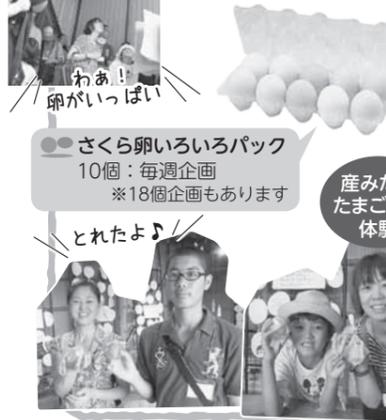


## きたさか 北坂養鶏場&北淡震災記念公園見学

8月19日 福島地域活動委員会(大阪市) 参加21名(うち子ども5名)



ケージ内を清潔にするため鶏糞が床下に落下する高床式でマンショントタイプの鶏舎



さくら卵いろいろパック 10個：毎週企画 ※18個企画もあります

産みだしたたまご採り体験

とれたよ♪

北坂養鶏場では、6棟の鶏舎で約10〜12万羽の鶏を飼育されています。飼料場の見学から始まり、ベルトコンベアに乗り隣接されている梱包センターに運ばれる卵を見ながら鶏舎に移動。次々と流れてくる卵の量は、思わず「あつー」と声のでるほどでした。鶏舎は開放鶏舎で風通しがよく、鶏糞処理も、おがくずを敷きつめて特殊な菌を混ぜ込み臭いの少ない・糞の増えない工夫をされていました(4棟分)。また、他の2棟の鶏糞を「醗酵肥料」に加工して、地元の農作物に還元さ

れている話も聞きました。交流会では、参加者から「こだわって、さくら卵を食べています。遺伝子組み換えでないコーンなど餌にこだわっているのいいですね。毎日食べるものだから」「自分の目で見て、直接話を聞くと、商品にとっても愛着がわきます。」「どんな食べ方が一番おいしいですか?」と子どもの質問に北坂さんは、「僕は毎朝、目玉焼きを食べます。周りをちよつとカリッと焼いたものが好きかな。和やかな雰囲気です。」「交流ができました。」



案内してくれた、代表の北坂勝さん

夏休みも終盤、さくら卵、だいきー、野鳥断層も見たという盛りだくさんな企画で、淡路島にある北坂養鶏場と北淡震災記念公園に子どもたちも一緒に行ってきました。



北淡震災記念公園「野鳥断層保存館」兵庫県南部地震で出現した断層がそのまま保存され、地震の凄まじさと脅威を感じることができる。「神戸の壁」「震災体験館」もある

※「さくら卵いろいろパック」の産地は、北坂養鶏・新見農場(岡山県)・東山産業(香川県)。



## おしえて!マヨネーズ ~キューピー工場見学~

8月5日 長宝寺パル委員会(交野市) 参加22名(うち子ども10名)

CO・OPマヨネーズ(卵黄タイプ) 毎週企画



ダブルソースは絶妙なおしさ! マーメレードジャムとの組み合わせはパンにぴったり♪

長宝寺パル委員会は、2年連続でキューピーの伊丹工場見学を行いました。夏休み中で多くの親子連れの参加がありました。初めに、マヨネーズ発売90周年の歴史をお聞きし、マヨネーズ作りのこだわりや工夫を、映画「野菜探偵団」でも楽しんで学習しました。製造工程の見学では、工場はコンピューターで動いていて、1分間に600個の卵を割る「割卵機」が、目が回るほどの速さで動いていました。その割卵機は2時間毎に洗浄することで、清潔さを保っています。



親子でアーン!

からしマヨネーズも食べやすいで♪

7つのマヨネーズをクラッカーにつけて食べ比べ



工場を案内してくれた中西さん

赤いキャップのマヨネーズ知ってますか?

答え：①国産 ②工場によっては24時間 ③約1億2000万本(1日に約50万本)